

平成 27 年 度

国土交通省大隅河川国道事務所の予算と事業概要

豊かな暮らしを求めて

～ 安全・自然・利便性を追求する ～

平成27年 4月 10日

問い合わせ先 大隅河川国道事務所 TEL 0994-65-2541(代)

河川・砂防事業関係	技術副所長	しまもと ひさのり 島元 尚徳 (内線204)
道路事業関係	技術副所長	すずき あきと 鈴木 昭人 (内線205)

平成27年度 大隅河川国道事務所 予算概要

- 都市と地方を結び、地域の活性化を図る
- 安全・安心な国土整備で、地域の活性化を図る
- 豊かな自然を創造し、地域の活性化を図る

平成27年度事業費総括表

(単位:百万円)

事業費		平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	(A) / (B)
河川	河川整備事業費等	564	1,176	0.48
砂防	砂防事業費	1,809	1,900	0.95
道路	直轄高速	7,000	11,389	0.61
	バイパス等	400	300	1.33
	歩道整備等	588	810	0.73
	小計	7,988	12,499	0.64
計		10,361	15,575	0.67

事業費は事務取扱費を含んでいない。

私たちの取り組み姿勢

”地域の皆様の声を反映させながら、大隅を創ります！”

- 情報を発信します
- 地域との対話に努めます
- 地域活動を支援します
- よりよい環境づくりに努めます
- より安全な地域づくりに努めます

平成27年度 河川事業のポイント

肝属川^{きもつぎ}におけるシラス堤強化対策

(別添:河川)

肝属川の堤防にはシラスが含まれていることにより、一般の土に比べ浸食されやすい性質があります。これまで、大きな出水時に堤防法面からの漏水や一部崩壊等の被害が起っています。

また、平成24年7月の九州の豪雨災害等を踏まえた堤防の緊急点検において、堤防への浸透に対する安全性が低く、緊急的に対策が必要な箇所と位置付けられているところ。このため、堤防点検結果を踏まえ安全性の低い区間を対象に強化対策を計画しています。

平成27年度は、池之園地区(肝付町)の堤防強化対策を引き続き実施します。

整備内容: 堤防強化

甫木水門^{ほのき すいもん}の老朽化対策及び甫木川の治水安全度向上

(別添:河川)

甫木水門から肝属川に合流する支川甫木川の周辺地区では、近年(H5、H9、H17)の洪水等で度々、家屋の浸水被害が発生していることから、その対策として県の甫木川改修と連携しながら甫木水門の改築を行います。

また、甫木水門は昭和43年に建築され築後40年以上が経過しており、ひび割れやコンクリート剥離など老朽化が進行している状況にあることから、平成23年度に設計を行い、平成24年度から工事に着手しているところです。平成27年度に旧水門撤去を実施し、事業完成となります。

河川管理施設の補修・更新

堤防、護岸及び水閘門等の河川管理施設は、流域住民の生命・財産を台風や梅雨期の洪水から守る重要な施設です。

肝属川管内の河川管理施設については、施工年次が昭和30～50年代に施工されたものが多く、鉄筋コンクリート部の劣化などの老朽化による機能低下が生じています。

そのため、適切な補修や機器の更新を行い施設の機能回復や機能向上を図ります。



老朽化樋管補修事例

河道の維持管理

河道に堆積する土砂や河川敷に繁茂する樹木は、洪水を安全に流下させるための障害となります。

このような、堆積土砂等を計画的に撤去・伐採し、河道を健全な状態に維持しています。

平成27年度においては、土砂撤去及び樹木伐採を行います。



堆積土砂の状況

堆積土砂掘削後

肝属川におけるシラス堤強化対策

【概 要】

肝属川の堤防は水の浸透に弱いシラスで築造されているため、すべりや浸食をうけやすい性質を有しており、洪水時に堤防の一部崩壊等の被災が多く発生しています。そのため、「平成24年7月の九州豪雨を踏まえた堤防の緊急点検結果(平成24年9月)」において堤防の浸透に対する安全性が不足するとされた肝属川池之園地区において平成25年度より川表の浸透対策を実施しているところです。平成27年度においても、引き続き川表の浸透対策を実施し、川表対策の完了を目指します。

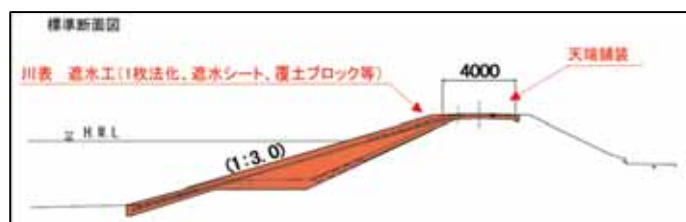
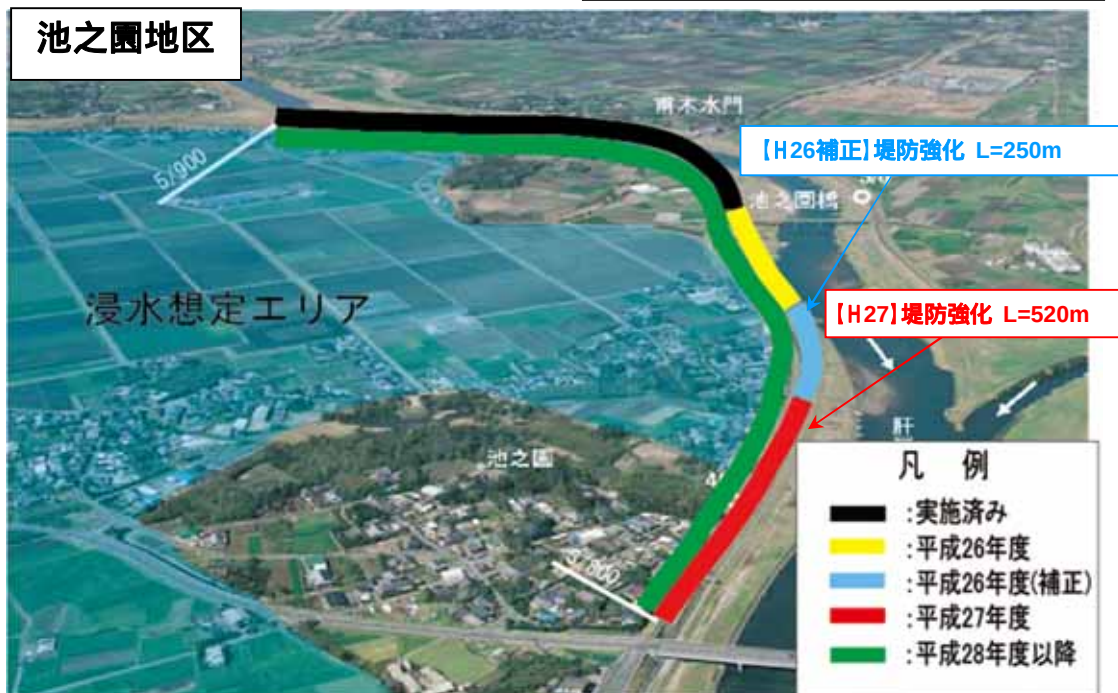
【事業内容】

【整備箇所：鹿児島県肝属郡肝付町】



始良川における堤防の被災状況
(平成16年8月)

池之園地区



甫木水門の老朽化対策及び甫木川の治水安全度向上 (特定構造物改築事業)

【概要】

甫木水門から肝属川に合流する支川甫木川の周辺地区では、近年(H5、H9、H17)の洪水等で度々、家屋の浸水被害が発生していることから、その対策として県の甫木川改修と連携しながら甫木水門の改築を行います。

また、鹿屋市串良町甫木水門は昭和43年に建築され築後40年以上が経過しており、ひび割れやコンクリート剥離など老朽化が進行している状況にあることから、平成23年度に事業着手し、平成26年度まで新甫木水門が完成しているところです。平成27年度は旧甫木水門の撤去を行い、事業完成となります。

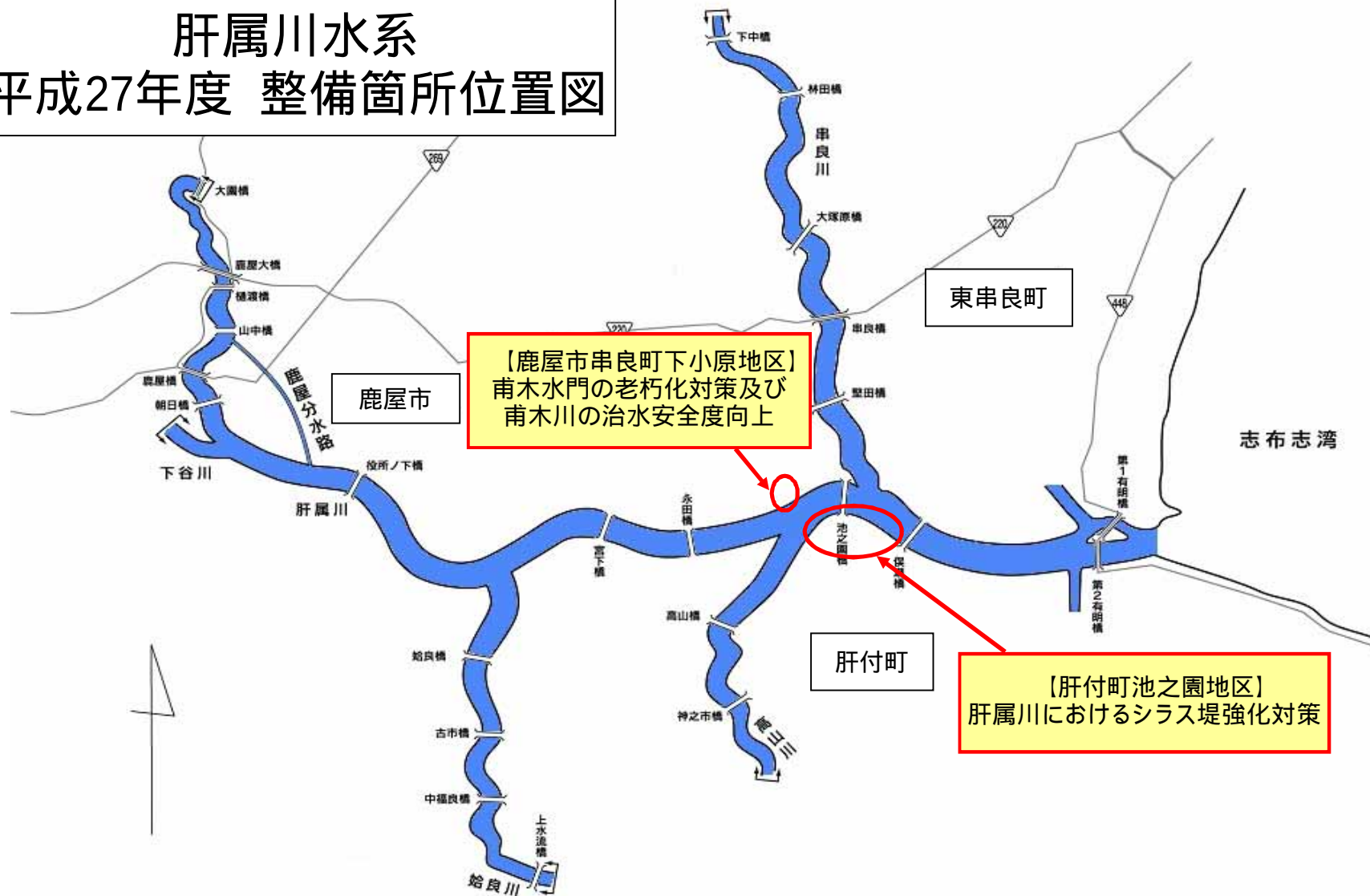
【事業内容】

- ・旧甫木水門 撤去

【整備箇所：鹿児島県鹿屋市串良町】



肝属川水系 平成27年度 整備箇所位置図



◎平成27年度 砂防事業のポイント

^{は せ} 長谷川砂防施設群の整備促進

(別添:砂防①)

侵食が進行している北岳周辺からの土石流に対し、遊砂地工の整備を行い、土石流の氾濫を防ぎ、武・赤生原地区の民家・主要地方道桜島港黒神線等を保全します。なお、平成27年度は遊砂地工(掘削工・床固工・導流堤工)の整備を促進します。

☆整備内容: 遊砂地工(掘削工・床固工・導流堤工)

砂防施設の機能確保(砂防管理)

(別添:砂防②)

桜島の噴火に伴う継続的かつ大量の土砂流出等により、適正に機能を確保することが困難な砂防設備について、国で管理を実施しています。なお、平成27年度も引き続き、土石流土砂除去や砂防施設補修を実施し、土砂流出による災害から人命財産を保全します。

①長谷川砂防施設群の整備

【概要】

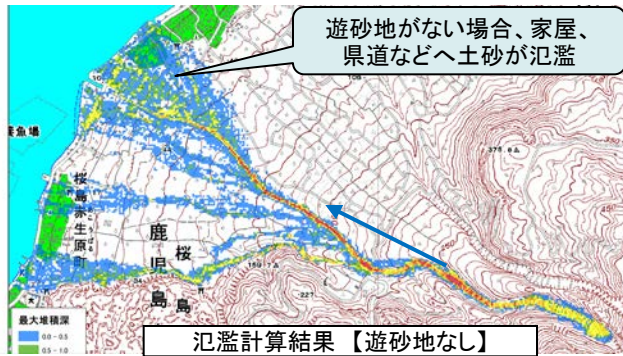
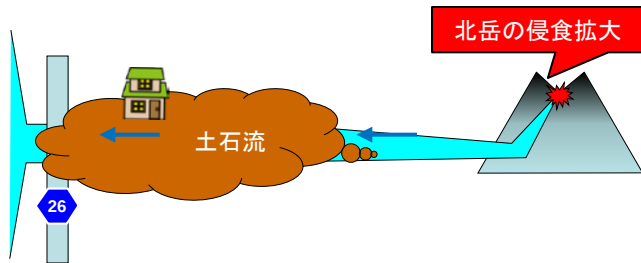
- ・長谷川は、桜島の北部に位置し、北岳火口を源頭部とする河川。
- ・北岳火口部の侵食が拡大し、それに伴う土砂災害の危険が高まっている。
- ・遊砂地工の整備を推進し、下流域の民家及び県道26号を保全する。

【事業内容】

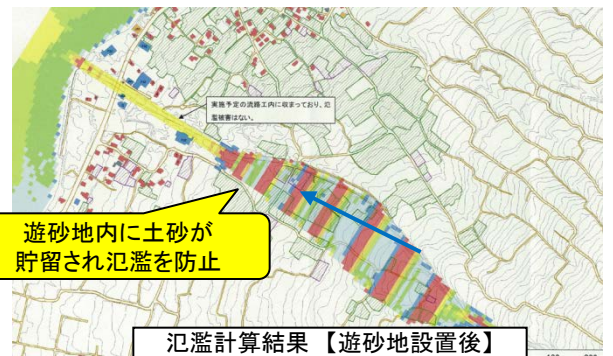
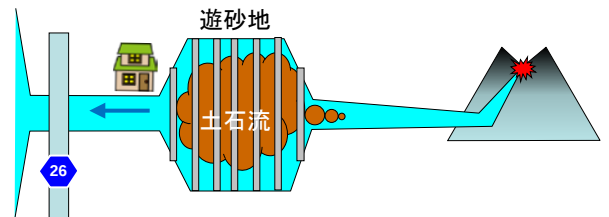
- ・遊砂地工 一式（掘削工・床固工・導流堤工）

遊砂地工の整備効果イメージ

整備前



整備後



長谷川遊砂地の整備イメージ

②砂防施設の機能確保(砂防管理)

【概要】

・桜島の噴火に伴う継続的かつ大量の土砂流出等により、適正に機能を確保する
とが困難な砂防設備について、国直轄で管理を行い土砂流出による災害から人
命財産を保全します。

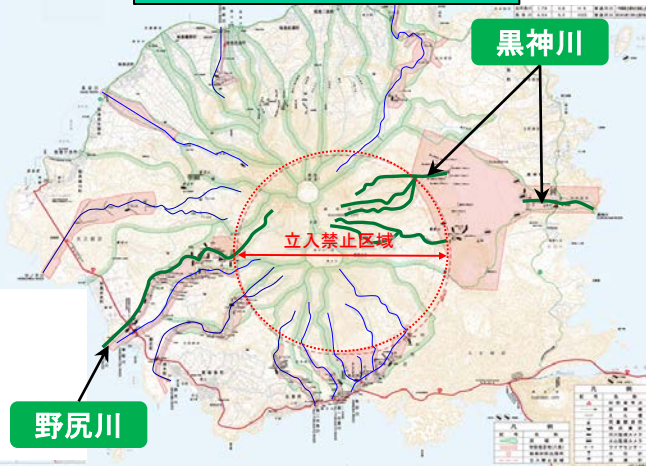
【事業内容】

- ・除石工 1式
- ・砂防設備修繕 1式

位置図



砂防管理実施河川



爆発的噴火回数
H22年 : 896回
H23年 : 996回
H24年 : 885回
H25年 : 835回
H26年 : 450回

桜島、活発化の傾向

無尽蔵に供給される土砂

土石流頻発

土砂の異常堆積
砂防施設の摩耗・劣化

土砂流下状況



随時除石を実施し、国道・民家への氾濫防止

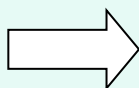
除石

除石状況



砂防施設を適正に管理し、機能を維持

本堤の摩耗



補修・補強
対策

補強対策(腹付工事)



補修対策(摩耗対策)



◎平成27年度 道路事業のポイント

高 速 道 路 東九州自動車道の整備推進

(別添:道路①)

- ・そ お や ご ろ う曾於弥五郎IC～す え よ し た か ら べ末吉財部IC間(L=11.1km)については、
平成22年3月14日開通(2/4)済み。
- ・かの や く し ら鹿屋串良JCT～そ お や ご ろ う曾於弥五郎IC間(L=17.7km)については、
平成26年12月21日開通(2/4)済み。
- ・し ぶ し志布志IC(仮称)～かの や く し ら鹿屋串良JCT間(L=19.2km)については道路設計、用地買収、
埋蔵文化財調査及び橋梁上下部工・改良工事を推進します。

ふ る え国道220号古江バイパス しろ みず白水地区道路整備推進

(別添:道路②)

- ・しろ みず白水～ふ る さ と古里地区の道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事を推進します。

交 通 安 全 事 業 安全な歩行空間の実現へさらに前進

(別添:道路③)

- ・歩行者の安全性の向上を図るために歩道整備を行います。

- 自歩道整備推進 : ます ま る益丸自歩道整備事業
- 歩道整備推進 : う し ね ふ と牛根麓歩道整備事業、ふ た が わ二川歩道整備事業、
う し ね さ か い牛根境歩道整備事業、ふ る さ と古里歩道整備事業、
み や ざ き し ょ う宮崎小路歩道整備事業、さ く ら じ ま あ か み ず桜島赤水歩道整備事業

維持管理 安全・安心な道路環境を保つために

- ・地域の実情や路線の特性を踏まえ、道路の巡回や路面清掃、除草、道路植栽管理、舗装補修などを実施します。
また、道路施設の老朽化については定期的に点検を実施し、計画的に橋梁補修や防災対策などを実施します。

①東九州自動車道

平成27年度は志布志 I C（仮称）～鹿屋串良 J C T間の道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査及び橋梁上下部工・改良工事を推進します。

事業の概要

当路線は、九州縦貫自動車道及び九州横断自動車道とともに、九州の高速自動車国道のネットワークを形成し、東九州地域の産業・経済・観光・文化の振興と均衡ある発展を図り、また交通混雑の緩和、輸送時間の短縮など沿線諸都市の生活向上・活性化に資するために計画されたものです。

■ 平成27年度 志布志（仮称）～末吉財部間

○ 曾於弥五郎 I C～末吉財部 I C

平成22年3月14日開通（2／4）

○ 鹿屋串良 J C T～曾於弥五郎 I C

平成26年12月21日開通（2／4）

○ 志布志 I C（仮称）～鹿屋串良 J C T

道路設計、用地買収、橋梁上下部工、改良工事

安楽橋（本線橋）： 上部工工事

細山田橋外1橋（本線橋）： 下部工工事

埋蔵文化財： 川久保遺跡外調査



② 国道 220 号 ^{ふるえ} 古江バイパス

平成 27 年度は ^{しろみず} 白水～^{ふるさと} 古里地区の道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査及び改良工事を推進します。

目的 ^{かのや} 鹿屋市白水町から^{しろみず} 垂水市新城までの交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした道路事業。

起・終点 (自) ^{しろみず} 鹿屋市白水町～(至) ^{たるみず} 垂水市新城

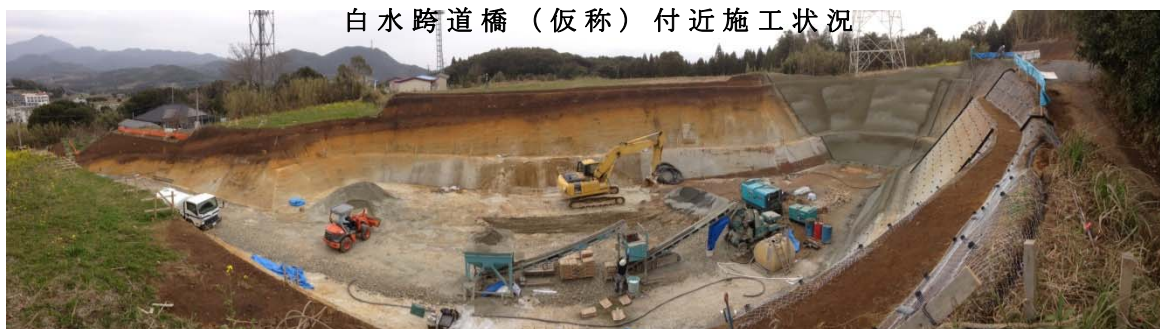
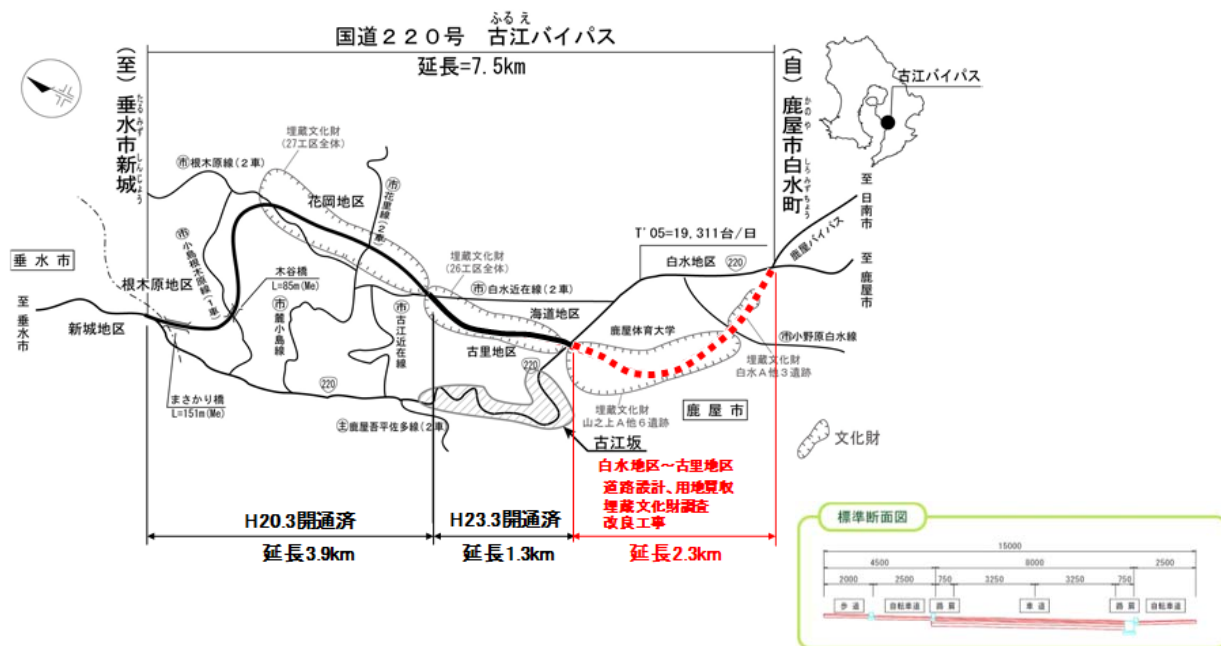
計画諸元

- ・事業化：平成元年度
- ・構造規格：第 3 種第 2 級
- ・設計速度：V = 60km/h
- ・延長：L = 7.5km
- ・W = 11.5～15.0m
- ・平成 26 年度末までの開通延長：L = 5.2km

平成 27 年度予定事業

○ ^{しろみず} 白水～^{ふるさと} 古里地区 (L = 2.3km)

・道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事



③交通安全事業

歩行者の安全性の向上を図るために歩道整備等を行います。

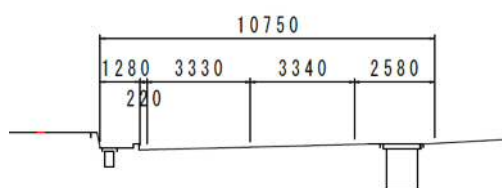
平成27年度予定事業

国道 220 号	益丸 ^{ますまる} 自歩道整備事業	(曾於郡大崎町益丸 ^{そ お おおさき ますまる} 地区)
国道 220 号	宮崎 ^{みやざき} 小路 ^{しょうじ} 歩道整備事業	(垂水市牛根 ^{たるみず うしね} 麓 ^{ふもと} 地区)
国道 220 号	牛根 ^{うしね} 麓 ^{ふもと} 歩道整備事業	(垂水市牛根 ^{たるみず うしね} 麓 ^{ふもと} 地区)
国道 220 号	二川 ^{ふたがわ} 歩道整備事業	(垂水市二川 ^{たるみず ふたがわ} 地区)
国道 220 号	牛根 ^{うしね} 境 ^{さかい} 歩道整備事業	(垂水市牛根 ^{たるみず うしね} 境 ^{さかい} 地区)
国道 224 号	古里 ^{ふるさと} 歩道整備事業	(鹿児島市古里 ^{ふるさと} 地区)
国道 224 号	桜島 ^{さくらじま} 赤水 ^{あかみず} 歩道整備事業	(鹿児島市桜島 ^{さくらじま} 赤水 ^{あかみず} 地区)

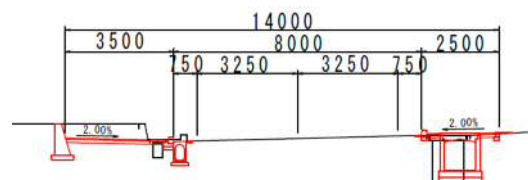
曾於郡大崎町 益丸自歩道整備



【現況】



【計画】



歩道を拡幅することで
安全・安心な歩行空間を確保。

平成27年度 道路事業箇所図

桜島赤水歩道整備事業
(用地買収、工事推進)

宮崎小路歩道整備事業
(用地買収、工事推進)

牛根境歩道整備事業
(道路設計、用地買収)

二川歩道整備事業
(用地買収、工事推進)

牛根麓歩道整備事業
(用地買収、工事推進)

古里歩道整備事業
(用地買収、工事推進)

白水地区～古里地区
道路設計、用地買収、
埋蔵文化財調査、
改良工事の推進

益丸自歩道整備事業
(道路設計、用地買収)

事前通行規制区間
L=3.8km

東九州自動車道

都城市

志布志市

志布志港

- 事業箇所(事業中)
- 事業箇所(供用済み)
- 国道220号・224号